

原子力発電所における工学的安全施設の多重性、多様性、独立性

「発電用軽水型原子炉施設に関する安全設計審査指針」において、重要度の特に高い安全機能を有する系統については、その構造、動作原理、果たすべき安全機能の性質等を考慮して多重性または多様性および独立性を備えた設計であることが求められ、非常用炉心冷却系、安全保護系および電気系など安全上重要な系の設計に当たっては機器の単一故障の仮定を加えてもそれらの系の安全機能が損なわれないように設計することが要求されている。

工学的安全施設の構成（BWR - 4 の例）

